

平成29年度 下川淵公民館事業計画

※印は必須事業

	事業名	ねらい	主な内容	対象	期間
※	1 家庭教育学級	乳幼児あるいは小中学生を持つ親を対象に、家庭教育に関する諸課題の学習を通して、明るく豊かな家庭生活を築こうとする意欲や実践力の向上を図る。	子どもの年齢に応じてカテゴリ分けして、親子または親のみで実技や講義を実施	未就学児から小学生の子を持つ保護者とその子	未定
※	2 子育て支援講座	核家族化や流動化社会に伴い孤立化した子育て環境を改善するため、地域での子育て支援を担う人材として必要な基本的知識や技術の学習を行い、子育て支援者の養成を図る。	子育てボランティアとして活動していただくための講義や実技を実施	成人	未定
※	3 少年教室	学校外での自然体験・ボランティア活動・世代間交流・創作活動などの諸活動を通して、心身の健やかな育成と仲間づくりを図る。	①陶芸・料理・科学・野外 ②お菓子づくり	小中学生	①7月～8月 ②未定
※	4 高齢者教室	高齢者が抱える課題について学習することで、高齢社会の中で生き甲斐のある生活が送れるよう促し、地域社会の活動に進んで参画する意欲を高める	老ク連と連携して、講義や実技を実施	老人クラブ会員及び60歳以上	11月～2月予定
※	5 生涯学習奨励員研修	生涯学習奨励員の連携、協調のもとに奨励員活動のあり方について研修を行い、奨励員の資質向上及び地域の生涯学習の活性化を図る。	①講義 ②野外学習	生涯学習奨励員及び自治会長	未定
※	6 地域づくり講座	地域の学習要求に基づいた必要課題・生活課題等の学習を実施することにより、地域の教育力の充実・活性化を図る。	①防災講座 ②普通救命講習会 ③花と緑の講座	住民	①6月16日、23日 ②7月2日 ③未定
※	7 自主学習グループ支援	公民館利用者（特に自主学習グループ）が、さまざまな学習活動を通して学んだことを地域に還元できる体制づくりを推進する。	①講演 ②野外研修	自主グループ会員	①7月11日 ②秋
	8 人権男女共同参画事業	生涯学習の視点に立ち、幼児から高齢者に至るそれぞれのライフサイクルに応じた様々な学習機会を通して、人権尊重の意識を高める。	館報に「人権啓発記事」や「小中学生の人権標語」を掲載	住民	年間
	9 環境講座	深刻化する環境破壊の現状を学びながら、自らの生活を問い直し、環境保護に向けて各自が取り組むことへの必要性を理解し、実践の方法をつかむ場としていく。	(花と緑の講座で実施)		
	10 食育講座	食育や食に対する安全性の向上、地産地消の推進などの社会の動向を受け、地域の食育への関心を醸成する。	(家庭教育学級や少年教室の中で実施)		
	11 世代間交流事業	核家族化・流動化社会の中で失われつつある異世代間の交流を促進することで、地域の教育力の向上を図る。	しめ縄づくり (老ク連と連携)	老人クラブ会員及び小学生とその保護者	12月
	12 育成・インリーダー研修	子どもたちの健全育成を図るための大人の役割について学ぶとともに、子ども会のリーダーを育成し、各町の子ども会活動の活性化を図る。	①育成指導者講習 ②調理実習ほか (子育連と連携)	子ども会会員及び子ども会育成会役員	6月17日
※	13 文化祭	公民館を活動拠点とする学習団体が、日頃の成果の発表と相互の交流を行い、また広く住民に公開することにより、地域文化の向上に資する。	第37回下川淵地区文化祭	住民	11月11日・12日

※	14	公民館運営推進委員会	地域の代表として、地域住民に公民館運営について積極的に参画していただくことで、公民館運営が円滑に進むような支援体制を推進する。	公民館運営推進委員会議	委員10名	①7月19日 ②3月
※	15	情報提供事業	地域住民に利用団体や地域文化・生涯学習に関する情報を提供し、生涯学習活動の推進を支援するとともに、公民館主催事業の周知を図り、学級・講座の効果的な募集の手段とする。	・公民館報発行 ・ホームページやフェイスブックによる情報発信	住民	館報毎月15日発行

■市民サービスセンター関係

<27年度実績>

1	市税等の窓口取扱件数及び金額	1,307件	23,967,485円
2	住民票等証明交付件数及び手数料	10,666件	4,094,550円

<28年度実績>

1	市税等の窓口取扱件数及び金額	1,351件	22,492,465円
2	住民票等証明交付件数及び手数料	10,862件	4,320,040円